

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容
A I 方式 1月19日 問題▶p.118～	第1問	古代	飛鳥～奈良時代(仏像、隋との外交、大化の改新、大宝律令、藤原京～平城京、奈良時代の政治)
	第2問	中世	史料問題(御成敗式目の内容、守護、平安時代、地頭、鎌倉時代の政治・土地制度、鎌倉文化)
	第3問	近代・現代	明治～昭和時代(自由民権運動と憲法制定、サンフランシスコ平和条約、外交と戦争)
A I 方式 1月20日 問題▶p.121～	第1問	古代	平安京と平安時代(長岡京・平安京遷都、平安時代の政治・文化、荘園整理令、乾元大宝)
	第2問	中世	室町時代(足利義満、北山文化、室町時代の反乱、五山、東大寺、応仁の乱、戦国大名)
	第3問	近代	史料問題ほか(条約改正、日清戦争と下関条約、第一次世界大戦、ワシントン会議)

傾向

近・現代史と古代史の出題割合が多く、標準レベルの問題が大部分を占める。

1 出題形式

1月19日と1月20日ともに、大問数が3つ、小問数が36問という構成である。

解答方式は、すべて①～④から選ぶ形のマークシート方式である。設問形式は、空欄完成・正誤4択・年代配列・2文正誤問題などで構成されている。センター入試の出題パターンに準じている。

2 出題内容

各大問とも、政治を中心に、外交、社会、文化などさまざまな内容が出題されている。

例年出題の比重が高い古代史に加え、今年度は近・現代史の出題の多さが目立った。全小問数の半分近くを近・現代史、3割強を古代史が占めるという出題構成となっている。一方、近世からの出題は見られない。

また、今年度はどちらの日程でも史料問題の出題が見られた。1月19日には「御成敗式目」と「サンフランシスコ平

和条約」、1月20日には陸奥宗光の回顧録である『蹇蹇録』が出題された。史料自体の難易度は高くないものの、文中の語句や設問文などから内容をすばやく把握する力が求められた。

このほか、写真を用いた文化史の問題も、例年出題が見られる。今年度は、1月19日に仏像に関する問題が出題された。さらに、歴史に関する時事的な話題が問題の題材として使われることがある。今年度は、鹿苑寺の敷地内から仏塔の一部とみられる装飾品が出土したという2016年7月のニュースが問題文中で取り上げられた。ニュースに関する知識を直接問われることはないが、問題を解く上でのヒントになっている年もあり、注意が必要である。

3 難易度

教科書の内容を正確に押さえれば対応できる問題が大部分を占めている。一部に難度の高い事項も出題され、消去法などを用いなければ答えにくい問題もあるが、全体としては標準的な難易度であるといえるだろう。

対策

教科書から始める段階的学習と知識の活用。

1 教科書を中心に、段階的に学習を進めよう

第1段階では、歴史の大きな流れをとらえるため、教科書を読み込む学習が効果的である。あわせて、空欄補充でキーワードを答えさせる整理ノート形式の教材や、1問1答式の問題集も活用するとよい。

第2段階では、キーワードを答えられるだけでなく、その内容が理解できているか、正誤問題に取り組むとよい。5W1Hの要素(いつ・どこで・だれが・なにを・なぜ・どうやって)は分かっているつもりでも、正誤問題を解いてみると、自分の理解の不足している要素を発見できる。正誤問題で正答率が高まるということは、正確で詳細な知識が身につけているということである。

第3段階では、政治史、外交史、経済史、文化史など、テーマ別の通史を学習しよう。時代ごとに学習してきた内容をテーマごとにとらえ直すことで、体系的な理解を深めることができる。また、実際の入試問題ではテーマに沿った出題が行われることが多いので、そうした切り口に慣れておくという意味でも大切である。できれば、「文化」「土地制度」といったテーマ別に、自分でノートに整理し直してみることをお勧めする。関連する歴史地図や写真を貼るなど、自分なりに要点をまとめることが重要だ。

2 史料・資料問題の対策を!

教科書に掲載されているような基本的な史料については、繰り返し読み込んで内容やキーワードを覚えておきたい。史料の内容に関連する出来事や前後の流れなど、背景や因果関係を押さえておくことも重要である。

文化史の学習には、資料集を用いるのが効果的である。特に美術品は、今年度の問題にも見られるように写真が出題されることがあり、作品名や作者名を覚えるだけでなく、実物を確認しておくことが必要である。単純に見て覚える作業にとどまらず、時代ごとの特徴、作風や技法の変化などを写真から探してみると、理解や興味が深まるだろう。

3 知識を活用し、応用力をつけよう

既に授業や自習で十分な知識を蓄えていても、実際の入試に対応するには、応用力や慣れが必要である。問題集や過去に出題された問題を解いて経験を積み、知識を補いながら実戦的な力を養っていき。史料問題については、多くの問題に取り組んで、初めて見る史料から情報を読み取ったり内容を推測したりする練習も積んでおきたい。

そのほか、歴史に関連するニュースにも関心を持つようにするよいだろう。